

# 研究通信

NO. 2

10月21日(水)になかよし学級において、複式授業においていかに学び合いの学習を行っていくのか実践提案授業が行われました。

## なかよし算数授業(3, 5年分数)異学年における学び合い!

|      |   |
|------|---|
| ◆授業者 | 清水淑美先生  |
| ◆日時  | 平成27年10月21日(水)  |
| ◆教科  | 算数  |
| ◆単元名 | 「分数をもっとくわしく調べよう」(5年)<br>「はしたの大きさの表し方を考えよう～分数を使って～」  |
| ◆目標  | ・分数の性質や異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにするとともに、数についての感覚を豊かにする。(5年)<br>・分数の意味や表し方、分数の加法及び減法の意味について理解する。(3年) |

### 《本時で取り組む「学び合いを深めるための手立て」》

#### オ) 教師の児童への関わり方

・自分の考えを発表する場だけでなく、学習中での児童のつぶやきを大切にしたい。疑問や驚きの声を拾って全体に問いかけたり、まとめたりしてお互いの考えのよさに気づかせる。また、児童の言葉を使ってまとめることで主体的に学習する気持ちを育てていきたい。

#### ケ) 見通しを持たせるための工夫

・これまでの分数の学習で使ってきた数直線や具体物、振り返りカード等を提示し、結果の見通しと同時に解決方法についても見通しを持たせる。

#### ク) 授業過程の工夫

・3, 5年合同で分数を学習できるように、3年児童の2学期分の教育課程を組み替え、学び合える場面を設けた。学習内容や感想を伝え合うことでお互いの頑張りを認め合えるとともに学習意欲の向上につなげていきたい。

#### ケ) まとめ・振り返り

・キーワードを提示しそれに即したまとめの文や学習感想を考えさせる。5年…「大きさの等しい分数」3年…「分数」という言葉を入れて書かせることで、学習内容に沿った感想を持てるようにする。

どちらも「分数」についての学習ではありましたが、分数の意味や表し方を理解させることをねらう3年生の学習に対し、5年生では、大きさの等しい異分母の分数を見つけながらきまりを考える学習を行い、5年生の2人の考えの交流や3年生の学習した分数を5年生の分数の学習にかかわらせていく授業の構成など、新しい試みが見られた授業になりました。

### 《授業者より》

#### 本時授業の反省

- ・5年・新しい内容(3年・学習したことの復習をメイン)に授業を行った。
- ・Aさん、数直線、折り紙では難しいようだった。具体物(算数パズル)で操作しながら見つける方法をとるべきだった。
- ・課題に対する手立てが不十分で子どもたちの考えをうまく引き出せなかった。

## 《研究会より》

### 児童の様子

- 落ち着いた環境でまじめに学んでいた。集中して取りくめていた。
- 「次に」「交わる」などの言葉を豊かに使えるようになっていて驚いた。
- Bさんは統合してまとめることができていた。
- 教師が見ていないタイミングでも、自分なりにがんばって学習していた。
- 教室の学ぶ場の作り方が工夫されていてさすがだった。
- Cさんの発表の時間を取ったことで、3人のクラスの所属感や一緒にがんばっている気持ちを高めていた。

### 手立ては有効であったか

- 児童の性格、理解力などを良く理解していて、組織された落ち着いた授業だった。
- うまく背中を押してあげるような言葉かけが良かった。
- 細かく意味を確かめながら、言葉を説明させていた。
- 児童の目標が達成されるよう、それぞれの活動に合わせて支援していた。
- 無駄な作業がなく、シンプルな授業構成で良かった。
- 教材・教具が児童目線で考えられていたもので使いやすそうだった。
- 課題をしっかりとつかませるために、折り紙で2分の1を作ったり、その折り紙を後の展開でも利用していた。
- ・5年生の2人が発表するとき、席で発表した方が落ち着いて話を聞けて良かったと感じた。

### 目標は達成されたか

- 5年生は授業案の途中までだが、十分達成されていた。
- ・Aさんはまだ決まりを見つけ言葉に表すまでには行っていないように感じた。
- めあてをどこに持って行くかを考えることが大切。(スキルは身につけているが、概念形成が難しい)
- ・Cさんは、～枚、～メートルと単位がつくと抵抗を感じているようだった。図の色の塗り分けはきちんとできていたので、分数については理解できていた。

複数学年の子供たちの学習を毎日一人で指導し、様々な工夫をしながら一人ひとりの子供の学習をきちんと保証していく様子に参観者一同大変感銘を受けました。清水先生、ありがとうございました。

(文責：本多)

